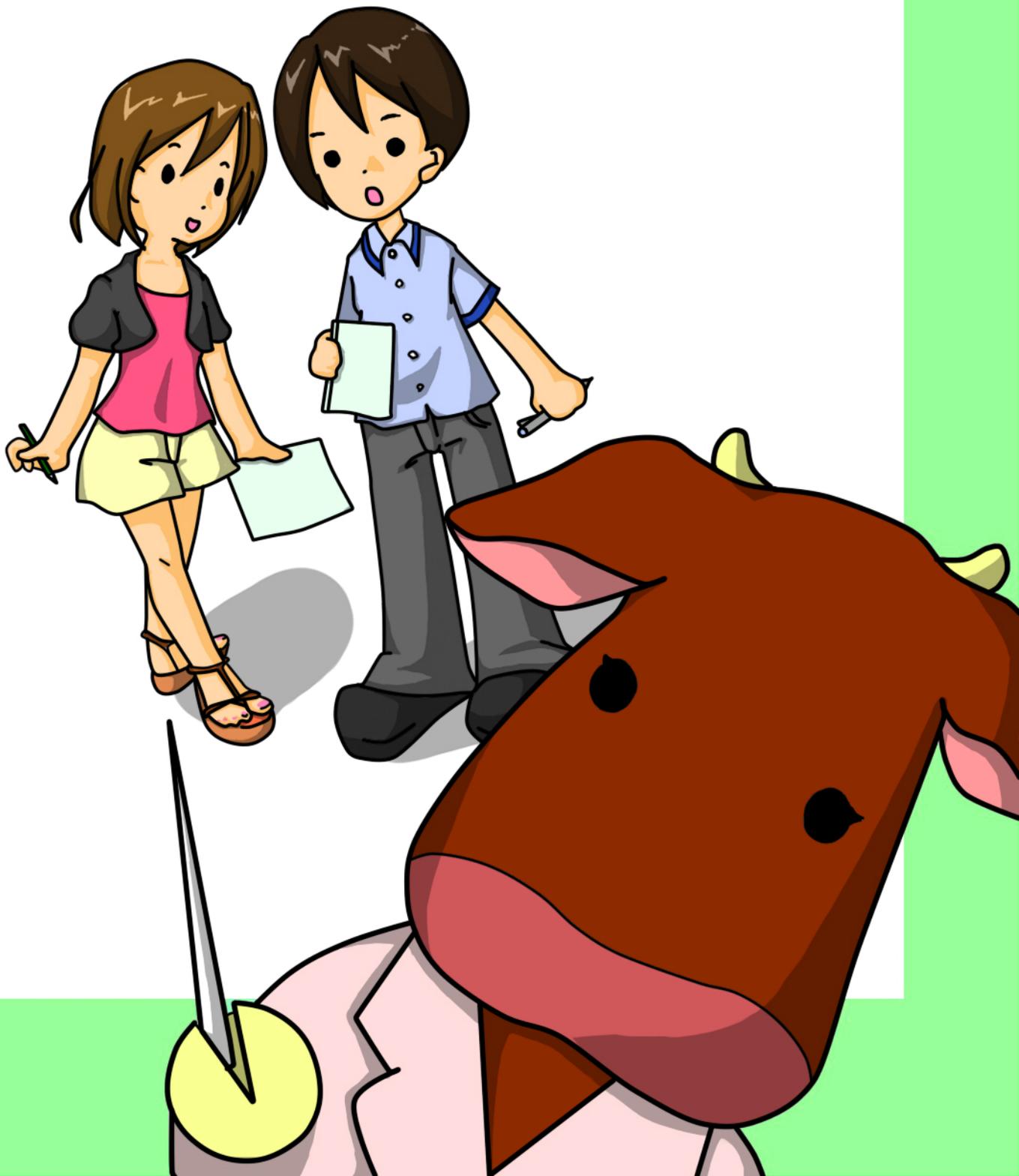


牛美先生と
学ぶ!

松阪市の財政



大学で自治体財政学の授業を受けている美鈴さんとたける君は、教授に「自分が住んでいる市の財政について調べて、レポートを提出しなさい」と言われました。

何から調べたものか、と悩んでいると、どこからもともなく

〈白衣を着た牛〉という、どこからどう見ても怪しい牛美が姿を現わします。

「松阪市の財政のことなら何でも知っている！」という牛美に、2人は（とりあえず）質問してみることにしました。



牛美



たける

美鈴

牛美先生からの 講義に当たっての注意

●松阪市の予算・決算は**一般会計**・**特別会計**・**企業会計**の3種類の会計に分けて整理されているの。

それぞれの会計の平成23年度の決算額は以下のとおりよ。

	一般会計	特別会計	企業会計
歳入（収入）	596億7349万1千円	487億3335万7千円	190億3365万8千円
歳出（支出）	584億5563万7千円	475億7761万8千円	213億6727万5千円 ※

（千円単位に四捨五入しています）

それぞれ大切な事業を行っているんだけど、今回は**一般会計**に絞ってお話するわ。
（3種類の会計については後の「会計の区分」のページで簡単に説明するね）

●財政の入門として市の仕事や財政についての概要（だいたいのところ）をお伝えするわね。

本文中、具体的な金額などを使うときは基本的には決算額を使うわ。

細かいところについてはカバーしきれないと思うから、興味を持ったところについてはぜひ調べてみてね。

最後のページで松阪市がホームページに掲載している情報の説明や、参考になるホームページの紹介をするわ！



●牛美先生

松阪市の財政についてとても詳しい牛。
市の職員ではないが、ホームページに掲載される資料を見て日夜分析に明け暮れている。（掲載されていない情報は市役所に問い合わせて手に入れたりもする。）

生まれも育ちも松阪市だが、黒毛でないなど松阪牛の条件を満たしていないため松阪牛ではない。密かに牛の中のエリート、松阪牛への憧れを持っている。



●美鈴さん・たける君

自治体財政学を学び始めた経済学部の大学1年生。
財政に興味はあるが、知識はまだまだ。

〈将来の夢〉

美鈴さん：公務員になって、国や地域の役に立つこと。

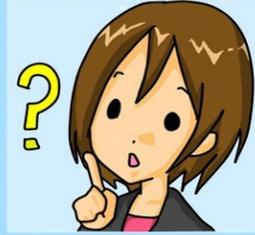
たける君：銀行員になって大きなお金を動かすこと。



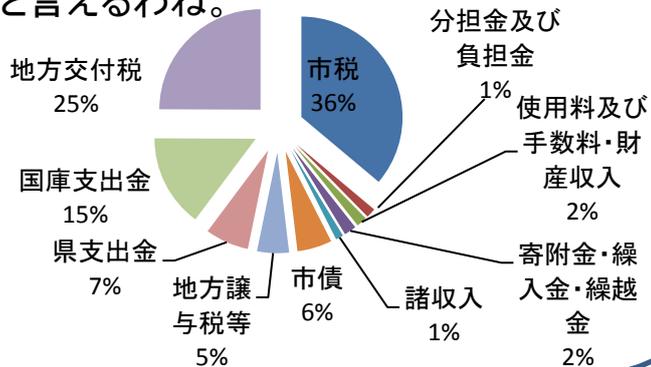
※現金の支出を伴わない経費が含まれるため、支出の方が大きくなっています。

松阪市は市民の税金だけで事業を行っているの？

ニュースで「私たちの税金がムダヅカイされている！」ってよく聞くけど、市役所は私たち市民の税金だけでいろいろなことをしているの？



主な収入源はその通り、市税なんだけど、下のグラフを見て。これは平成23年度の松阪市の収入の割合を示したものだけど、一番多いのは市民の方からいただいた**市税**ね。その他にも**地方交付税・国庫支出金・県支出金・地方譲与税**等は国や県が主に税金を元に市へ支出しているお金だし、**市債**(市の借金)も将来税金を元に返済されるから、ほとんどの収入が税金でまかなわれていると言えるわね。



※平成23年度一般会計決算データより

へえ、市民の税金だけじゃなくって、いろいろな収入があるんだ！でもやっぱり市役所の収入のほとんどは私たちの税金なんだね。ムダヅカイなんて許せない！



そうね。市の職員は大事な税金を預かっているという責任感を持つべきだし、市民の側も市役所が有効にお金を使っているかきちんと見守るべきだと思う。あと、割合は少ないけど手数料や預金の利子なんかの、**税金以外の収入がある**ことも覚えておいてね。

市税以外の収入にはどんなものがあるの？

うわあ。なんだか聞いたことのない名前が多いな。でも**地方交付税**って、最近ニュースで聞いた気がするよ。



地方交付税は市税の次に大きな割合を占めているわね。

地方交付税は**普通交付税**と**特別交付税**に分かれているんだけど、このうち**普通交付税**は自治体の「**税収入見込の一定割合**」と「**支出の需要**」とを全国一律の基準で算定、その差を計算して、お金が足りない自治体に交付することで、全国どこでも同水準の行政サービスが行えるようにしている制度なんだ。それが松阪市にも交付されているんだよ。

この交付税は自治体が自由に使える**一般財源**で、その次に多い**国庫支出金**や**県支出金**とは性格が大きく違うわ。

...ってことは、**国庫支出金**や**県支出金**は自治体が自由に使えるお金ではないってこと？



その通り！一部の例外を除いて、**国庫支出金**や**県支出金**はどんな事業に使うかが決まっている**特定財源**なの。支出金の中でも市の事業を助ける意味合いの**補助金**や、国や県の仕事を委託するときの**委託金**なんかに分かれているんだけど、興味があったら**予算書**を見てみてね。いろいろな種類の歳入があることがわかると思うわ。

借金時計を置いているのは何故？

市の借金といえば、市役所には**借金時計**が置いてあるよね。たまにメディアにも取り上げられてるけど、松阪市の借金が報道されるのはちょっと恥ずかしいな。



そうね。実際に借金時計を市役所前に置いた市は松阪市が最初なんだけど、ホームページ上に掲載している市町村や都道府県は結構多いのよ。

松阪市が借金時計を置いているのは、大きく次の2つの理由からよ。

- ・市の職員が市民に借金を負わせて事業を行っていることを意識すること
- ・市民の方に、市の借金やひいては市の財政に興味を持ってもらうこと

たける君が市の借金について興味を持ったなら、少なくとも2つ目は成功してるってことね。

あんな目立つところに置いてあったら自然に意識するよ。でも、そもそも借金なんてしなければいいのに。



市が借金をするには、きちんと理由があるのよ。たとえば学校を建設したらその後何十年も使うでしょ？ 建設するときの予算だけで建てるとそのときの市民だけが負担を負うことになって、その後の世代や引っ越してきた人は負担を負わずに使うことができる。それは不公平だから、**借金の返済を通して平等に負担しましょう**、という考え方で借りているの。

もちろん、利息分の負担は増えるし、将来返せるよう計画的に借りていかないといけないんだけどね。

借金時計の仕組み

※2012年10月17日に予定している数値

2012年4月1日時点の借金の残額
52,735,729 千円 (527億3572万9千円)



2013年3月31日時点の借金の残額見込
51,204,836 千円 (512億0483万6千円)

この1年間で約15億3089万3千円借金が減る予定です。
1秒平均では約49円減る計算になります。

$$\frac{1,530,893,000}{365(\text{日}) \times 24(\text{時間}) \times 60(\text{分}) \times 60(\text{秒})} \div 49\text{円}$$

平成24年度初めの残額から毎秒約49円ずつ引いていく計算を4月1日午前0時から3月31日の午後11時59分59秒まで続けると平成24年度末の残額見込になります。

実際の借金の増減は借入日・返済日にまとめて生じますが、1年間の平均で考えればどのように増減するかを計算し、表示しているのが借金時計です。



2012年10月17日昼に撮影した市役所前の借金時計
1秒ごとに約49円減って、3秒間で約145円減っています。

ホームページにも借金時計をのせています。ぜひ見てみてね！

借金をする理由

大きな負担



負担なし

借金をせずに建設をする年の負担だけで建てる左のようなイメージに。
借金の返済を通して負担を分散します。



市の施設を使うことによって利益を受ける人が、みんなでその費用を負担するために借金をしています。もちろん、ほとんどの借金には利息が発生します。将来返していける額か、利息による負担増の部分も計算に含めて計画的に借りていく必要があります。

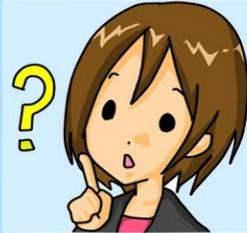
市役所って何をしているの？

収入が税金や、将来税金で返していかなきゃいけないものがほとんどっていうのはわかったよ。それで、市役所って何してるの？



きっとみんなが想像しているよりいろいろなことをしているわ。みんなの**生活**に関する**こと**、**福祉**に関する**こと**、**衛生**や**健康**に関する**こと**、**農業**や**商業・観光**の**振興**に関する**こと**、**みんなが使う道路**や**施設の建設・管理**に、**保育園・幼稚園・小中学校の運営**でしよ、細かく挙げていくときりがないわ。

本当にいろいろなことをしているんだね。市役所ってあんまり行くことないけど、そう考えると生活のいろいろなことに関係しているのかな？



そうね。全部を説明するのは無理かもしれないけど、2人の生活に関わりの深いところから説明していきたいと思う。

私は財政のことを知っていて、何がみんなにとって身近かよくわからなくなってきたから、まず2人が知ってる市役所の仕事について挙げてみてくれる？

そうだね。市役所ってあんまり行くことないからどれだけ思い浮かぶか不安だけど。
じゃあ、まずは...



市役所はみなさんの生涯に関わっています

最近市役所に行ったのは、自動車学校入学のときに求められた**住民票**を取りにいったときかな。たくさん窓口が合って、たどりつくまでにちょっと迷ったよ。



住民票や**戸籍**の管理はみんなが最初に思いつく市役所の仕事かもね。基本的にはみんな生まれたときに登録して、それからずっとどこかの市区町村に登録があるって、考えてみるとすごいことね。

玄関を入ったら**税金関係**の部署があって、**介護保険**や**国民健康保険**、**国民年金**の窓口の前を通過して住民票を出してもらえる窓口にとどりついたんだ。市役所って窓口がいっぱいあって、どこに行けばいいかわからないって思ったよ。



※介護保険や国民健康保険は特別会計



生活していくうえで必要な手続きをする窓口が集中しているからね。他にも**福祉関係**の部署が同じフロアにあったと思うわ。もしこれから子どもができたとしたら**子ども**や**家庭**に関する窓口に行くことがあるだろうし、**障がいのある方**や**高齢者**関係の係もあるのよ。

子どものとき、大人になったとき、年をとったとき、いろいろな場面に市役所の仕事は関係しているんだね。**児童手当**や**生活保護**、**保険なんかの給付**...いろいろなことを考えると市民に直接渡されるお金だけで、けっこうな額になりそうね。



税金を納めていただくための仕事も大切な仕事です

そういえば、免許がとれたから軽自動車を買ったんだけど、軽自動車にかかる税金は市に、普通自動車にかかる税金は県に払っているんだってね。はじめて知ったよ。



そうね。身近なところだと、**市民税**、**固定資産税**なんかも市に納めている税金ね。それに**市たばこ税**、**特別土地保有税**、**都市計画税**などを加えたものを**市税**と呼ぶんだけど、はじめの方で触れたとおり、市の収入の中で一番大きい割合を占める大切なお金なのよ。

ふーん。税金って払うところがいろいろと違ってややこしいんだね。一番身近な税金って**消費税**だけど、あれは市に払ってるわけじゃないんだ？



消費税は国に納めている税金ね。そうやって県や国に納めた税金も、一定の割合で市町村に交付されていたりするから、やっぱりみんなが納めてくれた税金で市はいろいろなことをしていると考えられるわ。

大切な税金を、決まりに従ってきちんと納めていただくために働いている人も、市役所にはたくさんいるの。

この税金を集めなければ、市役所はほとんどのことができなくなってしまうから、お金を使ってなにかすることだけじゃなく、税金を計算したり、集めることも大切な仕事のひとつなのよ。

安全・安心な生活のために

市の仕事って、市役所の中でしているだけじゃなくって、毎日使う道や橋も、市とか県・国が整備しているよね。

最近近くの中学校で交通安全教室をやったり、普段の生活にも市は関わってるんだなって感じたよ。



そうね。市道をつくって維持・管理したり、交通マナーやルールの呼びかけ・指導を警察と合同で行ったり。みんなが安全に道を通ることができるようにするために、いろいろなことをしてるわね。

安全、といえば、災害って怖いよね。僕の家は海が近いから、ニュースで見たような津波がきたらと思うとぞっとしちゃうよ。



そうね。普段から松阪市は防災にも力を入れているんだけど、平成23年度からは特に津波対策に力をいれているわ。日常生活が安全に過ごせるだけでなく、もしものときに備えることも、安全・安心な生活のためには必要よね。

そう考えると、福祉などの制度も安全・安心な生活のためになっているよね。自分が障がいを持ったり、年を重ねたり、仕事を失って困ったりしても助けてくれる制度があるってことだもの。

市民全体に影響のあることから、個人レベルまで、いろいろなサポートを市はしているんだね。



健康的な生活のために

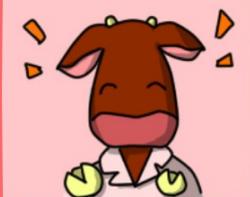
毎日の生活、って考えるとごみを集めているのは市だよ。小学生のときに清掃工場(ごみ処理場)にも見学に行ったよ。



そうね。ごみ処理などの、環境・衛生に関わることも市の仕事なの。不衛生だったり、空気・水・土などが汚染されていたら健康でいられないわよね。

健康といえば、予防接種や健康診断を促進する事業、休日夜間の診療なんかも市でやっていたりするのよ。

へえ。市役所の隣に市民病院があるのは知っていたけど、それ以外にも医療に関することをやっているんだ。上下水道も、市がやっているよね。



その通り！松阪市では電気やガスは市じゃなくて民間の企業が行っているんだけど、水道・下水道は市が行っているのよね。

安全な水が各家庭で使えたり、使った後の水を適切に処理するのも、衛生環境にとって大切なことよね。

そうそう、今回お話しているのは一般会計っていう区分のことなんだけど、美鈴さんが今言った病院・上下水道は企業会計っていう形で会計を分けて事業を行っているのよ。他にも特別会計っていう区分もあって、その会計で処理している事業もあるんだけど...長くなるからまた後で！

市役所の仕事は民間ともつながっています

あと、思いつくのは**幼稚園、保育園、小中学校**なんかは市立のものが多いよね。**文化・スポーツ関係の施設**も。

でも、なんだかお役所の仕事って感じで、普通の会社や自営業とは別の世界だよな。



そんなことないわよ。第一次産業から第三次産業まで、市内の事業に対して幅広く支援や誘致を行っているし、民間にも深く関わっているの。

美鈴さんが感じているのが仕事の進め方の話なら、ちょっと財政の話からはずれてしまうからなんとも言えないんだけど。

第一次って**農業・林業・漁業**なんかのことだよな？
第二次は工場に代表される**製造・建設業**で、第三次は**それ以外のサービス業**などだったと思うんだけど、その全てに関わっているの？



実はそうなの！**第一次産業**については、農・林道、漁港の整備や、農林水産業への補助金を出したりしているし、**第二次産業**に対しても、企業が工場などを新設しやすいように一定の条件下で奨励金を出したり、固定資産税の減免を行っているわ。**第三次産業**については対象は限定されちゃうんだけど、商店街への補助や出店の促進に関する事業を行っていたりするわ。**観光のPR**をして、市外の方に来ていただくよう働きかけるのも、間接的に市内の産業に貢献していると言えるんじゃないかしら。

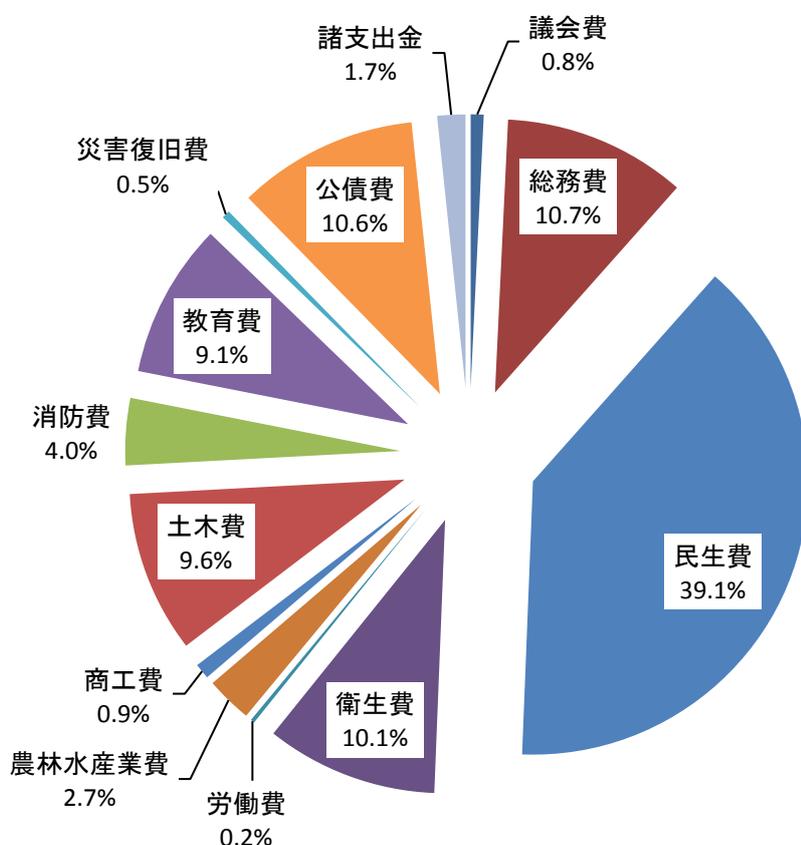
市の仕事って、**直接市が行っているもの**から、**個人や団体を補助しているもの**まで結構幅広いものなのよ。

どんなことにどれだけお金を使っているの？



おおまかに市がどんなことをしているか説明してきたんだけど、では実際どんな風にお金を使っているか平成23年度一般会計の決算数値で見てみましょう

平成23年度一般会計目的別歳出決算状況



目的別決算歳出状況、というのはどういう分野にどれだけお金を使ったかを表すものなの。

民生費はおおよそ福祉分野のことを指して、総務費にはほかに含まれないいろいろな支出が含まれるんだけど、他はなんとなくどんな分野か想像がつかんんじゃないかしら。

次のページで、各分野を簡単に説明していくわ。

各種類ごとに分類される仕事

議会費(0.8%)



- ・議会の運営に関わること全般

総務費(10.7%)



- ・市の運営全般に関わること
- ・地域の振興に関わること
- ・防災・交通安全・人権に関わること
- ・税金にかかわること
- ・戸籍・選挙・統計調査・監査等

民生費(39.1%)



- ・障がい者福祉
- ・高齢者福祉
- ・児童福祉（保育園を含む）
- ・生活保護

衛生費(10.1%)



- ・環境調査、計画の策定等
- ・健康推進（健康診断・予防接種など）
- ・ごみ収集、処理、リサイクル
- ・病院・上下水道会計への支出

労働費(0.2%)



- ・就職支援
- ・ワークセンター松阪

農林水産業費(2.7%)



- ・農林水産業関係施設の整備
- ・農林水産業への支援

商工費(0.9%)



- ・ 商工業の振興
- ・ 観光、国際交流

土木費(9.6%)



- ・ 道路、河川、公園、市営住宅の整備・維持管理
- ・ 街づくりに関すること

消防費(4.0%)



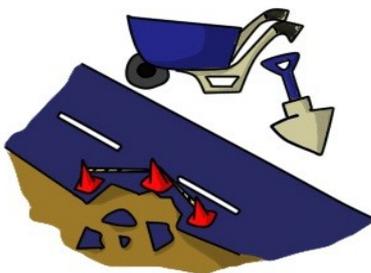
- ・ 消防団の活動に関すること
- ・ 広域消防との連携

教育費(9.1%)



- ・ 市立幼稚園、小中学校の管理
- ・ 文化の保存、振興
- ・ スポーツの振興

災害復旧費(0.5%)



- ・ 台風等の災害で壊れた施設等の復旧

公債費(10.6%)



- ・ 借金の元金・利息の返済

松阪市の支出はこのような目的別に分けられ、管理されているわ。
ここには挙げなかったけど、他にも何かあったときのための予備費が設定されてたり、諸支出金という分類では基金への積立を行ったりしているわ。直接事業を行っているわけではないけど、覚えておいてね。
この目的別は市の予算・決算の整理に使われている【款】という区分とほぼ対応しているわ。
他の資料を見るときに参考にしてみてね。

松阪市のおさいふ(3種類の会計)

• 一般会計

今回扱っている会計。いろいろな事業を扱っているメインの会計で、一定の基準に従って他会計への繰出し(必要経費の支出)や他会計からの繰入れ(余剰経費の受入れ)を行っています。

下記2種類の会計については今回扱いませんでしたが、とても大切な仕事をしています。

• 特別会計

一般会計とは会計を分けて収入・支出を管理しています。特別会計の中には9つの会計があり、それぞれ別の事業を行っています。その内容は保険、特定の地域の水道・下水道からケーブルテレビの番組作成・放映※まで、様々です。

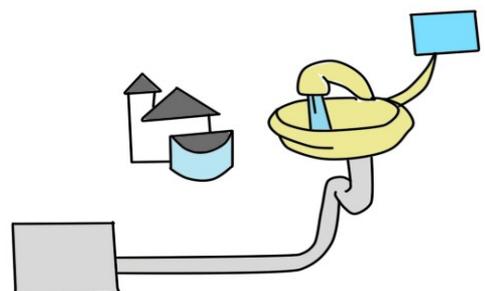


※市の行事や議会などについての番組を作成しています。

• 企業会計

一般会計・特別会計とは違い、企業会計原則に従い、複式簿記の考え方でお金の管理をしています。

水道・下水道・市民病院の3つの会計がこの企業会計に含まれます。



あれもこれもはできない

へえ。福祉に一番お金がかかっているんだ？超高齢社会の中で社会保障が問題になっている、とは聞いていたけど、福祉の中に含まれるよね。

現時点の松阪市では福祉にもうこんなにもお金がかかっているんだね。



福祉にかかるお金は国や県からの特定財源が当てられているものが多いから、市の情報だけ見てもわからないこともあるんだけどね。

税金が福祉に使われる割合はとても高い、ということは少なくともいえるわ。

衛生も教育も消防も...ほとんどのことについてあんまり削ってほしくないって感じちゃうし、借金の返済も削れないお金だよ。なんだかそう考えると、いくらお金があっても足りないって思っちゃう。



本当にそう思うわ。でも、現実問題使われるお金はみんなの税金で、そう簡単に増やせるものではないわよね。借金も借りたら返さなきゃいけないんだから、やみくもに借りるわけにもいかないわ。

収入に限りがある中で、各分野で削れない経費は何か、何に優先してお金をかけるか、国県支出金などの特定財源はないか、ということは常に考えなければならない問題ね。

市がすべきこと、市民が市にしてほしいこと、いろいろあると思うんだけど、**あれもこれもはできない状況にある**のは分かってほしい。お金をかけなくてもできることはあるけど、お金がないとできないことも、すごく多いと思うの。

借金は計画的に

松阪市って平成24年度までは毎年借金を減らしているんだよね。

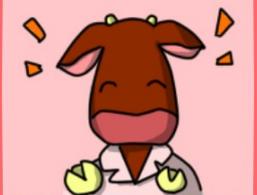
借金がない方がいいとは思うんだけど、さっき言ったような合理的なものならちよっとくらいたくさん借りて、いろんなことしちゃってもいいんじゃない？



確かに合併以降、平成24年度までは借金を減らしているわね。(注:一般会計ベース)

でも、現時点での収支のバランスや借金の状態も大切なんだけど、これから先収入や支出がどうなっていくか、大きな借金をする予定はないか、そういった先々のことも考えていかなくちゃいけないの。

でもそんな先のことなんかわからないし、やっぱり今、便利に快適になってほしいな。そんな風に考えちゃダメなのかな？



そうね。わからないことや、予想が大きくはずれることもあると思うわ。

でも、個人に置き換えて考えてみて。1年後に家を建てる予定があるのに、その出費や住宅ローンの返済を考えず高額なカーローンを組んでしまったら生活や返済が立ち行かなくなるかもしれないわよね。これからの日常生活にかかるだろう費用や大きな出費の予定を考えてローンを組むはずよ。病気にかかったり、お給料が下がってしまったりのリスクもある程度は考えるかな。

市も同じように、これから先きちんと返していけるか、借金の返済が他の経費を圧迫しないか考えながら借金をする必要があるのよ。

予算が決まるまで

借金に頼っちゃいけないってことは、基本的には税金を使って市はいろいろなことをしていくわけだよ。限られた収入の中でどうやって割り振りを考えているの？



予算がどう決まるのか、ということね。年度が始まる前に決める**当初予算**と、年度途中で当初予算では見込めなかったことについて増額・減額する**補正予算**があるんだけど、全体のことを決めるのは当初予算のほうね。簡単に流れだけ見ていこう。

あ、補正予算についてはこの前授業で聞いたよ！大きな台風などの災害があったり、国の制度が変わったり、いろいろな要素で最初の予定通りにはなかなか進まないんだってね。



新年度予算の編成を考える時期になると、市長の命を受けて財政担当課から「こういう風に来年度の予算を考えてくださいね」という**方針**が出されるの。

それにしただがって各部署から**要求**が出されて、それを基に**ヒアリング**と呼ばれる事業の内容や金額の妥当性、財源などを確認する作業をするの。きちんと市民に説明ができると思えない部分については削ったり、重要な事業については増額したりもするわね。新しい事業や重要度の高いものは市長も一緒に確認するわ。

そうやって調整されたものを市長が**査定**して、市としての要求が確定したら予算書にして、議会にかけられるの。予算内容についての審議を受けた後、**議会の可決(賛成)**を受けないと**予算は使えない**のよ。

補正予算は必要に応じてされるけど、要求書提出以降の流れは基本的には同じね。

財政って…何？

財政学のレポートのために牛美先生にお話を聞いてきたわけなんだけど、結局財政って何なんだろう。



それだけで卒業論文が書けちゃいそうなくらい、難しいテーマね。いろいろと定義の仕方はあると思うけど、参考に松阪市の財政を担当する財務課財政係の仕事を紹介しておこうかしら。

なんだ。正解は教えてくれないのか。でも、それはレポートを書くときにもすごく参考になりそうだね。



まず一番大きな仕事は**予算の調整**ね。どれくらいの収入の見込みがあって、各部署がそれぞれどんな事業をしたいか、しなくちゃいけないかを取りまとめ、資料を作って議会に提出できる状態にするのよ。

次に**決算数値を基にした資料**の作成ね。総務省に提出する資料や、決算議会用の資料を作るの。決算資料については、財政係で作っているのは一部だけなんだけど。

そうそう、予算や決算の数値の想定や、分析もしているわね。

他には**地方交付税を算定するための基礎資料**をとりまとめたり、各種予算や決算に関わる調査に回答したり。

全体として、お金が滞りなく使われていくための仕事や、使われた結果の取りまとめをしているわ。

まとめ

いろいろとお話を聞いて、レポートを書く手がかりがつかめた気がするよ！

松阪市の財政の全体的なことについてはもちろん、市のお金の使い方が市民にどう影響するかを考えて、レポートを書きたいと思うわ。牛美先生、いろいろと教えてくれてありがとう。



僕はやっぱり、大きなお金の動きに興味があるな。今回話してもらった話とは少しずれるかもしれないけど、交付税なんかの制度の話や、国との関係を調べてみようと思うよ。

まだまだわからないことだらけだけど、僕も考え始めるきっかけをもらった気がする。

本当ありがとう！牛美先生。



興味をもってもらえて本当に嬉しい！
今回はお話しきれなかったこともたくさんあるから、ホームページなんかからもっといろいろな情報を集めてみてね。

例えば予算が決まるまでだって、もっと複雑よ。各年度のことを考えるとさっきお話したような流れなんだけど、その前にもっと長い目で見た中長期の計画を作成しているの。その上で予算を考えていたりとか、説明しだすとキリがないくらい。

美鈴さんの興味を考えると、松阪市のホームページで、いろいろな課の掲載している情報と予算・決算の情報とを見比べるといいかもしれないわね。たけるくんには、総務省や財務省のページを見てみることをお勧めするわ。

2人とも、難しいと思うけどがんばってね！



最後に(編集担当者より)

「牛美先生と学ぶ！松阪市の財政」をご覧いただきありがとうございます。
います。

この資料は松阪市財務課財政係が平成24年度から平成25年度にかけて作成しました。

〈財政〉というと、少し難しいイメージのある言葉ですが、皆様からいただいた税金をどのように使っていくか調整することが財政係の主な仕事です。過去や現在の状況から将来の見通しを考えたりもします。

市役所は市民のために仕事をする組織です。毎日の生活から大きな事業までいろいろなことに関わっていることが少しはお伝えできたでしょうか。

市がどのようにお金を使っているのか、また使っていくべきなのか一緒に考えていただくきっかけになれば幸いです。

●関連資料について

松阪市ホームページ内には予算書や決算資料が掲載されています。最初にご覧頂くには「**当初予算説明資料**」と「**松阪市主要施策の成果及び実績報告書**」がお勧めです。(各事業で行う予定・実績をそれぞれ記載しています。)

また、リンクのページには、総務省・財務省・三重県の市町行財政課へのリンクを貼っています。地方財政の制度について知りたい方は総務省のページ、三重県内の他の市町についてご覧になりたい方は三重県市町行財政課のページにも、是非アクセスしてみてください。

松阪市の財政については、お気軽に巻末の連絡先までお問い合わせください。



松阪市総務部財務課財政係

〒515-8515

三重県松阪市殿町1340番地1

TEL : 0598-53-4317

FAX : 0598-26-4030

E-mail : zai.div@city.matsusaka.mie.jp

本文中の文章の著作権は全て松阪市に帰属します。
文章・イラスト等について無断使用はご遠慮ください。